

二六六三番

ちはやぶる 神かみの斎垣いかきも 越こえぬべし 今いまは我わが  
名なの 惜をしけくもなし

二六六四番

夕月夜ゆふづくよ 暁あかとき闇やみの 朝影あさかげに 我あが身みはなりぬ 汝な  
を思おもひかねて

二六六五番

月つきしあれば 明あくらむわきも 知しらずして 寝ねて  
我わが来こしを 人見ひとみけむかも

二六六六番

妹いもが目めの 見みまく欲ほしけく 夕ゆふ闇やみの 木この葉は隠こもれ  
る 月待つきまちつごとし